



この問題は まだ、解決していません！



逮捕された元副市長は 何をしたの？ 日野市の責任は？

2020年3月、奥野りん子は、疑惑解明のための「百条委員会の設置」をもとめる動議を提出。しかし、賛成2、反対22で否決となる。奥野りん子は、日野市が「これ以上の解明は無理」と逃げないように、独自に調査を続け、告発を連発！ 元副市長の詐欺を立件、逮捕、起訴に結びました。

元副市長の懐に入った8000万円を
組合から日野市に返還させました！

小中学校では、タブレット端末が、ケース無しで配られた結果、既に20台も破損しています。取り返した助成金を、端末のカバーや保護シール等の購入にあてるよう求めました。

歴代市長の違法な雇い方

- 2001年、馬場元市長がK氏を副市長に抜擢。
- 2009年、「市立病院 経営専門監」というK氏のための“天下り先”が作られ、「市長代行」の肩書付きで就任。(年収約900万円)
- 2012年の任期切れ後も、馬場市長、大坪市長によって、臨時職員として残留が認められ、K氏のやりたい放題が容認された。
- 2013年、臨時職員としての契約賃金以外に、「日額給」の支給開始。時給3000円で最大・月200時間に相当する時間外手当がこっそりと支給されていた。(市長の年収超え！)

私は、このデタラメな雇い方について、議会で是正を求めましたが、大坪市長がこれを拒否したため、現在、市民と共に日野市を提訴中です。



引き続き、日野市の責任を明確にしていきます。

日野市が、一年以上も時間稼ぎをしている間に、契約関係の証拠は隠されてしまいました。詐取された市民の税金は、それらの証拠さえあれば、4億円は取り返せるはずでした。

日野市の「助成金」を詐取

- 奥野りん子は、「元副市長が、川辺堀之内・区画整理組合の理事長相談役として兼業し、会計を牛耳っていた現状」を、「地方公務員法違反である」と、議会で告発。
- さらに、組合の決算報告の中に、支払先が不明の委託料がある事を突き止め、そのうち「業務推進のための業務委託料」が、「助成金を原資としてK氏に支払われた報酬である可能性が高い」と告発した。

警視庁から捜査協力の依頼の電話が入り、資料を提供。逮捕、起訴に至りました。真相は私の告発通りであると、証明されました。

M保育園の怪 告発・第三弾

- 診療所の建設を予定していた地主に、K氏が、M保育園も組み込んでビルを建てるよう要請。
- K氏は、「M保育園・建設プロジェクト」の日野市側の統括責任者でありながら、「ビルオーナーの代理人」として、日野市から助成金を引き出す交渉人も務め、6億を超える補助金を引き出した。日野市は、その利益相反を了承していた。

私は、「建設費の中の“企画開発費”は、K氏への報酬である疑いあり」「高額な家賃390万円は、「診療所分も保育園に肩代わりさせている疑いあり」と告発。この告発により、市は、幕引きができなくなりました。

